

青森高校卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、高橋校長をはじめ教職員の皆様には、感謝とお祝いを申し上げます。

在学中は、学業や部活動、同好会やイベントなど様々な活動に勤しまれ、充実した高校生活を過ごされたと思います。達成感や喜びに満ち溢れたり、時には悩み傷ついたこともすべて良い思い出となり、これからの人生において大きな糧になることでしょう。この3年間で培った知識や経験、育んだ友情は、大学生活や社会に出てから、その先の人生においても大きな財産になると思います。私の高校時代を振り返ってみますと、硬式野球部に所属し、正月以外は休みがほとんどなく、青高祭も一度も参加したことがありませんでした。残念ながら良い結果は得られませんでした。同期が誰一人も欠けることなく、最後の試合を迎えられたことは今でも鮮明に記憶し、良い思い出になっております。現在も、同期やOBの方々とは、交流を温めており良い財産となっております。

これから皆さんは、希望に満ち溢れた新しいステージへスタートすることになります。新しい環境で、素晴らしい出会いや大きな喜びが用意されていることでしょう。また、大きな壁や困難が待ち構えているかもしれません。そんな時こそ、自身の能力や可能性を発揮し、青森高校で培った知識や経験を活かし、果敢にチャレンジして、輝きや喜びに満ちた人生を切り拓かれていくことと思います。

次に、東京青高同窓会についてご紹介させていただきます。皆さんの中には、卒業後、東京及び首都圏に来られる方も多くいらっしゃると思います。今年、青森高校は今年創立125周年を迎えますが、長い歴史の中で多くの先輩方が積み重ねてきた伝統を守り、次世代に伝えていくのが同窓会の大きな役割と考えております。東京青高同窓会は、旧制青森中学校の卒業生が創設した「東京青中会」から始まる歴史を持ち、県外にある同窓会としては、最も多くの同窓生が所属しており、東京またはその周辺に在住する会員で構成されています。また、会の目的は、ふるさとの同じ学舎で過ごした同窓との出会いを懐かしみ、喜び、加えて、世代を超えた同窓が互いに刺激しあい、何かを学び、助け合い、人生を豊かなものにする事としてしています。本日、皆さんが入会される青森高校同窓会とは別に独立した団体として、独自の活動を続けているものの、相互に親睦ならびに連携を深めております。

毎年、5月には「上野精養軒」において350名ほどの卒業生が集う東京青高同窓会総会ならびに懇親会を開催し、その年の春に青森高校を卒業された方を無料でご招待するなど、多くの方のご参加を頂いております。本年の第47回東京青高同窓会総会・懇親会は、5月11日(日)11時より「上野精養軒」で開催します。皆さんは無料とさせていただきますので、クラスや同期との集まりの場として活用して頂ければと思います。ウェブサイトにて詳細・申込についてご確認いただき、是非ともご参加をお願いいたします。多くの方にお会いできることを楽しみにしております

結びに、皆さんのこれからのご活躍と、教職員の皆様のご労苦に感謝し、青森高校の益々のご発展を祈念して、挨拶とさせていただきます。

2025年2月28日

東京青高同窓会会長 永田雅之